

医療費（通院費）の窓口負担軽減に関する請願書

紹介議員

角井 英明

中川 睦子

1、請願趣旨

子育ての大きな不安の一つに、子どもの病気があります。子どもは病気に罹りやすく、抵抗力が弱いため重症化することも多く、成長期にある子どもの病気の早期発見・早期治療を支えるために、医療費の心配をなくすことは大きな子育て支援になります。子ども医療費助成制度は、親の経済状況に左右されることなく安心して医療にかかることのできる制度として重要な役割を果たしています。とりわけ、コロナ禍や経済の低迷する中で、子育て世代の生活困窮や子どもの貧困の深刻さが懸念され、医療費の自己負担軽減は喫緊の課題となっています。

この間、住民世論と自治体の努力により、子どもの医療費助成が拡充され、厚生労働省の 2021 年度調査では、全国では「高校卒業まで」助成している市区町村は、通院 47%、入院 51%と半数になり、「中学校卒業まで」と合わせると、通院 95%入院 98%と、助成対象年齢のほぼ全体を占めていると報告しています。また、滋賀県下においても、入院助成は 19 市町の内 95%が、通院助成は 68%が「中学卒業まで」の助成を実施しています。

しかしながら彦根市においては、通院への助成は現在小学 3 年生（9 歳）まで（2023 年 4 月から小学校卒業までに改善）で、全国的に高校卒業までを助成する自治体が増えてきている中で大きく立ち遅れています。

彦根市の財政が大変厳しい中ですが、住民福祉を最優先にし、子どもが安心して通院・治療ができるように制度の早期拡充を求めてお願いします。

2、 請願事項

- ・ 医療費（通院費）の窓口負担を早期に中学校卒業まで無料にして下さい。
- ・ 子育て支援の一環として、さらに子ども医療費の無料制度を進めて下さい。

以上

令和5年 3月 / 日

請願者

子ども医療費無料化を求める彦根ネット

代表 三橋 つた子

住所 彦根市日夏町2060番地

彦根市議会議長 赤井 康彦 様

